

たまきゅう便り

発行 多摩丘陵病院 広報委員会

町田市下小山田町1491

多摩丘陵病院健康講座のご案内

第1回健康講座

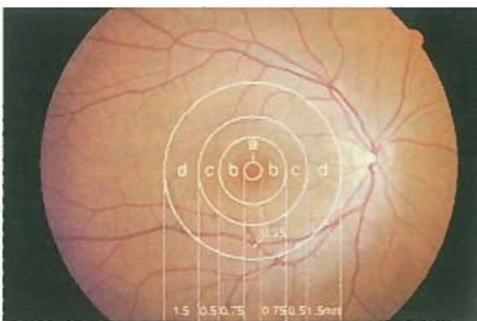
おもしろく、楽しい眼の話

講師 当院 眼科 西川医師

百聞は一見に如かずといわれる通り、眼という臓器は情報の収集という点で最も重要な役割を果たしています。

本やテレビなどで様々な眼の話について触れる機会がありますが、本質的に分かりやすい説明は非常に少ないです。

今回は今までの知識と全く別の側面から分かりやすくお話しします。



●日 時：11月22日（火）
午後5：30～午後6：30

●場 所：町田市下小山田町1491
多摩丘陵病院 3階 理学療法室

●お問い合わせ：TEL042-797-1511

●対象：地域企業や住民の皆様（自由参加）

受講料無料

当院では地域企業や住民の皆様を対象とした健康講座を開催いたします。医療の様々な分野と健康の知識について、当院の医師が分かりやすく解説いたしますので是非ご参加ください。

多摩丘陵自衛消防隊活動紹介

9月15日に行われた町田市自衛消防 技術操法の大会に出場いたしました！

町田市自衛消防技術操法の大会が9月15日に行われました。当院からは、健康管理科の松下靖史と浅川和也が出場しました。町田消防署では毎年9月に市内の一定期規模以上の事業所を対象とした自衛消防隊の消防技術操法の競技会を行っています。万が一の災害に備え、当院でも自衛消防隊が毎年参加し、日頃の訓練の成果を発揮出来るよう頑張っています。

病院の火災は起きてしまうと避難が非常に困難なため、まず、火災を起こさないことが重要です。が災害が起きてしまつた場合は自衛消防隊の隊員を中心に、職員全員が皆様の身体・生命の安全を第一に考え災害に立ち向かう覚悟でおりますので、今後とも応援の程よろしくお願ひ申し上げます。



自衛消防隊員 右浅川 左松下



指揮者と一番



消火器による消防活動



AEDを使用した救命活動

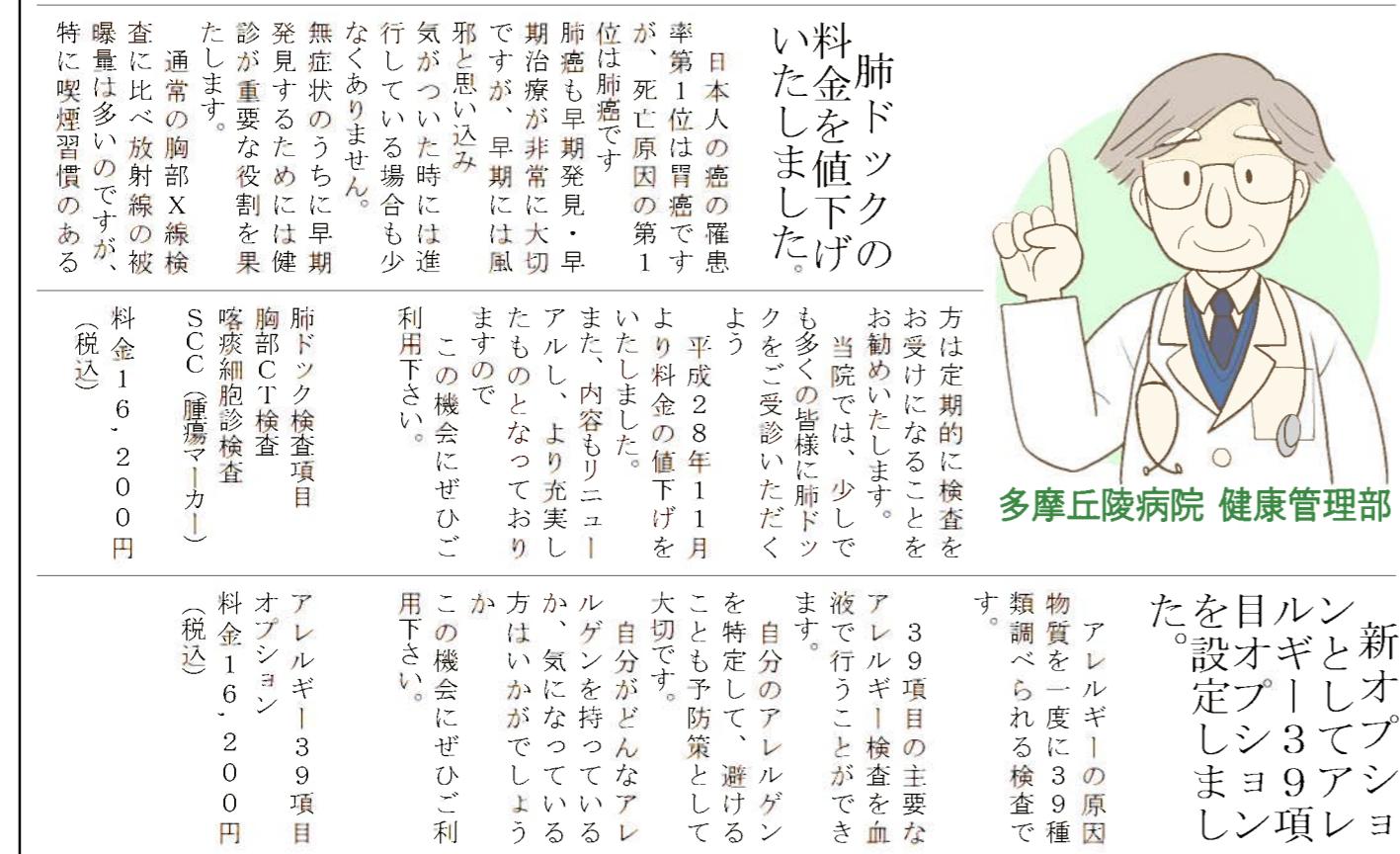


救急処置の様子

白内障初期	暗いところで本がよく見えない すれ違う人の顔がよく見えない まぶしい ゴルフの球筋が見づらい 運転に支障をきたしている	視力1.0のこともある 仕事や趣味に不便を感じていることを理由に手術を希望される方もいる
白内障中期	免許更新が難しい かすんで視力そのものが低下 日常生活に不便を感じる	これ以上進行して手術がやりづらくなってしまう前に手術をお勧めする時期
成熟・過熟白内障	極端な視力低下 日常生活困難 緑内障発作による眼痛を訴えることもある	手術時間が長くかかる 手術中に合併症が発生することもある

健康管理科からのお知らせ

オプション検査料金を値下げしました。皆様の健康管理のため
ぜひご利用ください。



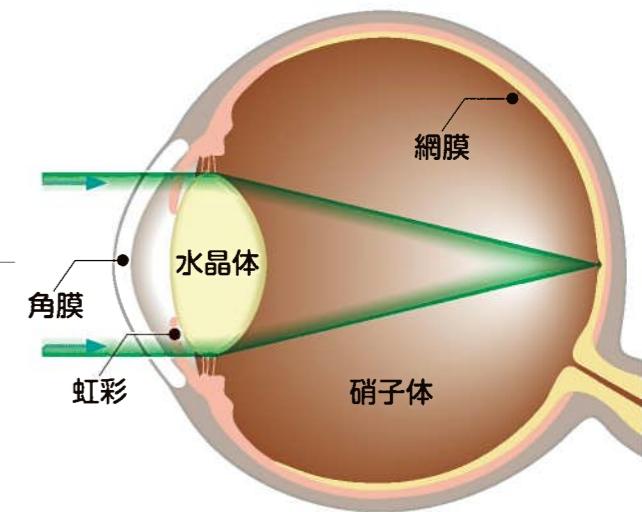
医療コラム第1回

眼の病気 『白内障』

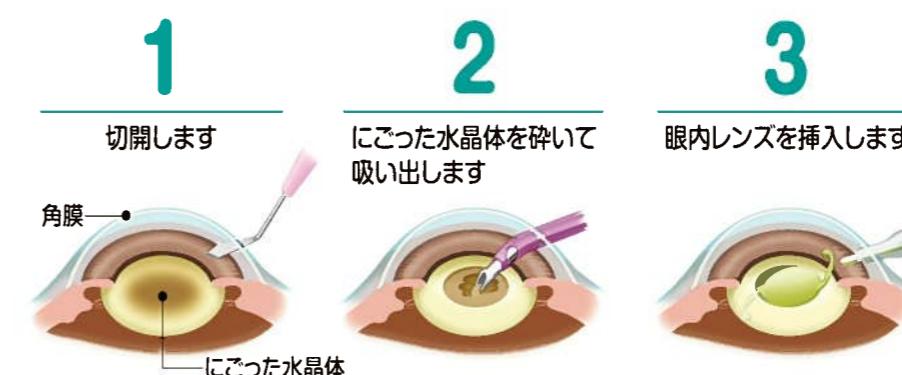
水晶体は眼の中でレンズの役割をする組織です。正常な水晶体はほぼ透明で必要な光を十分に通しますが、水晶体がにごつて白内障になると光が十分に通らなくなります。主な原因は加齢のため、特別な原因がなくとも誰にでも起ります。にごりの程度は個人差がありますが、50歳代の約半数、60歳代の約6割、70歳代では約8

上では全ての方に白内障が見られると言われています。『白内障の治療』水晶体の混濁を遅らせる薬剤として点眼薬が用いられていて、混濁が進行して視力が低下し、日常生活に支障をきたすようになると、水晶体を摘出し眼内レンズを挿入します。

100年前のインドと言われておらず、白内障になつた水晶体を針でついて後ろ（硝子体）に倒すやり方で行つていました。1785年に初めて現在のような水晶体摘出術が行われるようになりました。

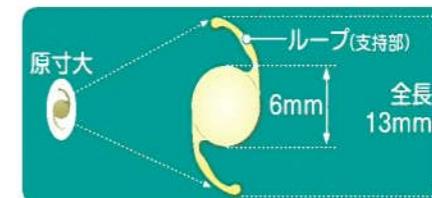


白内障の治療って？



眼内レンズとは？

吸い出した水晶体の
代わりとなる人工水晶体です



後良好な視力が得られるよう、信頼する医師を選ぶことも重要です。

関係なく100歳の方でも可能です。ただし、身体的精神性な衰えを考慮すると、80歳代になると前に手術を決断されたほうが多いでしょう。主治医とよく相談してからで決めてください。

当院では二名の常勤医により自内障手術を行つておられます。御希望の方は月曜・金曜の午前中、外来受診して下さい。
(眼科 鈴木)